

報道機関各位

令和8年8月31日

奈良県三郷町

～循環型社会の構築を目指して～

家庭系廃食用油の資源循環を推進します

株式会社レボインターナショナル様と『使用済み食用油リサイクル事業に関する協定』
を締結しました

令和8年5月21日に三郷町は、株式会社レボインターナショナル様（本社：京都府京都市、代表取締役CEO：越川 哲也）と、家庭から排出される使用済み食用油（以下「廃食用油」）の資源循環を推進するため、「使用済み食用油リサイクル事業に関する協定」を締結し、8月28日に三郷町役場において本協定の締結式を執り行いました。

本協定を締結することで、町内で回収した家庭系廃食用油を SAF（持続可能な航空燃料（Sustainable Aviation Fuel））の原料へ再資源化する流れを明確化するとともに、町民の皆さまに資源循環の仕組みや環境への効果をよりわかりやすくお伝えできるようになりました。

三郷町では、本協定を契機として、町民・事業者・行政が一体となり、家庭系廃食用油の資源循環を推進することで、循環型社会の構築及び持続可能なまちづくりの実現を目指してまいります。

【協定式の様子】



（左から三郷町イメージキャラクターたつたひめ、三郷町の本谷慎一郎町長、(株)レボインターナショナルの越川 哲也代表取締役CEO）

【協定締結に至った経緯】

三郷町では、2019年国から「SDGs未来都市」に選定されて以降、地球温暖化を防ぎ、限られた資源を未来につなぐため、脱炭素社会の構築や循環型社会の実現に向けて様々な取り組みを進めております。

その取り組みの一つとして、家庭から排出される廃食用油については、主に住民からの持ち込みにより回収し、事業者は無償で引渡した後、石鹼等へ再利用が行われておりました。

今般、廃食用油のより高度な有効活用方法として持続可能な航空燃料（SAF）の原料として再資源化する取り組みを株式会社レボインターナショナル様よりご提案いただき、本事業が三郷町の推進するSDGsの理念に基づいていることから締結にいたしました。

【今後の期待効果】

本取り組みは、廃棄物の減量化を図るとともに、回収した家庭系廃食用油をSAFの原料として有効活用することで、環境負荷の低減や循環型社会の実現に貢献するものです。町民一人ひとりが資源循環や環境保全について考え、行動するきっかけとなることを期待しています。

そのためには、一人でも多くの方に本取り組みを知っていただくことが必要となるため、広報やSNS、様々なイベントを通して周知活動を行い、取り組み内容の普及、啓発に務めます。

○排出方法

1. 役場に設置されたポリタンクへ排出された廃食用油を持ち込み（職員駐車場東側）
2. 可燃ごみの日にペットボトルに廃食用油を入れ、所定の集積所に出す

【町長コメント】

町民の皆さまには、廃食用油を「ごみ」ではなく、「再利用できる資源」として認識していただき、町全体で資源循環につなげていくことが重要だと考えておりますので、何卒皆さまのご支援・ご協力賜りますようお願いいたします。

【お問い合わせ】

奈良県三郷町 環境整備部 住環境政策課 担当 新

TEL : 0745-43-7342